

CARF ファイナンス・スクール 高度金融人材養成プログラム 2026年度開講のご案内



東京大学が有する知的資源の粋を結集し 未来の金融業をリードする人材を育成する

高度金融人材養成プログラム（CARF ファイナンス・スクール）とは

このスクールでは、東京大学経済学部での金融に関する最新の授業のエッセンスを、60時間で網羅します。
学術的知識を中心に、毎日の実務の奥底にある、金融経済の動きへの理解を深めます。
実務に直結した、それぞれの会社等における様々な研修の効果を高めます。

ファイナンス・スクールの対象と目的

経済学の履修経験の有無にかかわらず金融における広い視野と高度な知識を必要とする方に対し、実務に直結する最先端の学術的知見を提供します。

1 経済学の基礎固め

工学部や法学部卒などで、金融に携わっている方々で、金融の経済学について基礎を固めたい。

2 経済学のリフレッシュ

経済学部卒で、金融に携わって数年たち改めて学部の最新の経済学を復習したい。

3 さらに金融の経済学について知見を深めたい

将来、大学院で修士号取得を目指すための基礎知識を得る。

特 徴

1 トップレベルの講師陣による質の高い講義

最先端の研究をリードする世界的な研究者や、国内外の金融の中核を務めてきた実務家が講師を務めます。

2 学校教育法に基づいた履修証明書を交付

受講者自身の学びの履歴を公式に示すものとしてキャリアアップにつなげていただけます。

企業等においては、人材育成やリカレント教育の施策として活用いただくことが可能です。

3 夜間に週1回開講のため働きながら学べる

1年間／60時間で経済学の基礎から金融実務の最先端の知見までをカバーします。

実務と両立して金融を学ぶ方に向けた、高密度で効率のよいカリキュラムです。

4 対面による少人数教育

30名程度（予定）の少人数講義を東京大学の本郷キャンパス内で実施します。

緊張感ある対面講義が、エキサイティングな学びの時間を形成します。

5 同じ志を持つ人々とのネットワーキング

金融という同じフィールドで活躍する受講者がさまざまな業界から集まります。

受講者相互に親睦を深めていただくため、複数回の懇親会の開催を予定しています。

履修内容

全60回（講義日数は30日）で、経済学の基礎から高度な金融実務の知見までをカバーします。

基礎科目は、東京大学経済学部の専門課程の履修内容から金融に必要なエッセンスを抽出したものです。

専門領域である金融は、基礎から始まり、時代が要請する最新のトピックまでを扱います。

実践科目では、第一線の実務家の高度な知見に触れる機会を設けます。

基礎科目	基幹科目	展開科目	実践科目
経済学部の専門課程において履修する範囲を効率的にカバーします	金融の専門家として必要な知識を習得することを目的とします	金融に関する高度なテーマや最新のトピックを学術的観点で講義します	第一線の実務家による講義を実施し、広い視野で金融の将来を考えます
経済学基礎	ファイナンス	実務家講義	
金融のための経済学基礎 ・ミクロ経済学 ・マクロ経済学 ・データ分析 ・会計	資本市場やコーポレート・ファイナンスから銀行論、国際金融までを網羅	貨幣論やデジタル・ファイナンス、ESG投資などを含む、鮮度の高い個別領域	金融規制や金融政策といったスケールの大きい実務テーマでの講義

2026年度(2026年4月開講コース)

講師・カリキュラム (予定)

	講義タイトル	内容	担当講師 (所属)
基礎科目 計 22回	金融のためのミクロ経済学	・ゲーム理論	小島 武仁 (大学院経済学研究科教授)
	金融のためのマクロ経済学	・景気循環論 ・金融政策、財政政策	青木 浩介 (大学院経済学研究科教授)
	金融のための計量経済学	・回帰分析 ・時系列分析	新谷 元嗣 (大学院経済学研究科教授)
	企業会計	・ディスクロージャー制度の概説 ・企業財務分析 ・会計とコーポレート・ガバナンス ・サステナビリティ情報の開示	首藤 昭信 (大学院経済学研究科教授)
基幹科目 計 24回	金融システム	・金融契約論 ・銀行論	植田 健一 (CARFセンター長、大学院経済学研究科教授)
	証券市場	・債券市場 ・株式市場	服部 孝洋 (CARF招聘研究員、公共政策大学院特任准教授)
	数量ファイナンス	・金融工学入門 ・オプション価格の評価とリスク管理 ・ファイナンスデータ分析	藤井 優成 (大学院経済学研究科准教授) 白谷 健一郎 (大学院経済学研究科准教授)
	企業金融	・資金調達と企業価値 ・コーポレート・ガバナンス	服部 孝洋 (CARF招聘研究員、公共政策大学院特任准教授)
	国際金融・貿易	・貿易、国際収支 ・為替市場 ・国際金融危機	古澤 泰治 (大学院経済学研究科教授) 植田 健一 (CARFセンター長、大学院経済学研究科教授)
展開科目 計 8回	家計消費と金融	・ライフサイクル消費と貯蓄、投資、保険 ・天災、パンデミックと消費	仲田 泰祐 (大学院経済学研究科准教授)
	貨幣論	・貨幣サーチ論 (暗号資産含む)	中野 剛 (CARF特任講師)
	デジタル・ファイナンス	・フィンテック ・CBDCと暗号資産	柳川 範之 (大学院経済学研究科教授)
	ESG 投資	・ESG 投資	湯山 智教 (CARF招聘研究員、専修大学商学部准教授)
実践科目 計 6回	金融規制・監督の実務		森 信親 (CARF招聘教授、元金融庁長官)
	金融政策の実務		雨宮 正佳 (CARF招聘教授、前日本銀行副総裁)
	金融業の未来	・銀行、証券会社、保険会社、ベンチャー・キャピタル等の実務家によるパネル討論	TBD (銀行、証券会社、保険会社等の実務家)

全60回

※所属は現時点の情報です。また、講師名に大学の記載がない場合は東京大学の所属です。

(60時間)

※講義タイトル、講義内容あるいは担当講師は変更となる可能性があります。

2025年11月25日現在

2026年度(2026年4月開講コース)

開講スケジュール(予定)

下記講義日程の他にも、CARF では金融研究関連のセミナーやコンファレンスを多数開催しており、ファイナンス・スクールの受講者は優先的に参加していただくことができます。

日程	スケジュール
2026年 4月 22日 (水)	オリエンテーション・懇親会
5月 13日 (水)	第 1 回講義 & 第 2 回講義
5月 20日 (水)	第 3 回講義 & 第 4 回講義
5月 27日 (水)	第 5 回講義 & 第 6 回講義
6月 3日 (水)	第 7 回講義 & 第 8 回講義
6月 10日 (水)	第 9 回講義 & 第 10回講義
6月 17日 (水)	第 11回講義 & 第 12回講義
6月 24日 (水)	第 13回講義 & 第 14回講義
7月 1日 (水)	第 15回講義 & 第 16回講義
7月 8日 (水)	第 17回講義 & 第 18回講義
7月 15日 (水)	第 19回講義 & 第 20回講義
7月 22日 (水)	第 21回講義 & 第 22回講義
7月 29日 (水)	第 23回講義 & 第 24回講義
9月 2日 (水)	第 25回講義 & 第 26回講義
9月 9日 (水)	第 27回講義 & 第 28回講義
9月 16日 (水)	第 29回講義 & 第 30回講義
9月 30日 (水)	懇親会
10月 7日 (水)	第 31回講義 & 第 32回講義
10月 14日 (水)	第 33回講義 & 第 34回講義
10月 21日 (水)	第 35回講義 & 第 36回講義
10月 28日 (水)	第 37回講義 & 第 38回講義
11月 4日 (水)	第 39回講義 & 第 40回講義
11月 11日 (水)	第 41回講義 & 第 42回講義
11月 18日 (水)	第 43回講義 & 第 44回講義
11月 25日 (水)	第 45回講義 & 第 46回講義
12月 2日 (水)	第 47回講義 & 第 48回講義
12月 9日 (水)	第 49回講義 & 第 50回講義
12月 16日 (水)	第 51回講義 & 第 52回講義
2027年 1月 6日 (水)	第 53回講義 & 第 54回講義
1月 13日 (水)	第 55回講義 & 第 56回講義
1月 20日 (水)	第 57回講義 & 第 58回講義
1月 27日 (水)	第 59回講義 & 第 60回講義
2月 3日 (水)	オプション：発表会【1】
2月 10日 (水)	オプション：発表会【2】
2月 17日 (水)	オプション：レポート提出日(最終日)
3月 3日 (水)	修了式・懇親会

上記のほか、2026年8月5日(水)、8月26日(水)、12月23日(水)、2027年2月17日(水)を講義予備日とします。

2026年度(2026年4月開講コース)

募集要項

プログラム全般

名 称	高度金融人材養成プログラム (CARF ファイナンス・スクール)
対 象 者	金融に携わっている方々、金融に関する知見を深めたい実務家
受講内容	金融および経済学に係る幅広い研究者から、金融業に精通するために必要な学術的知見や研究成果を学ぶ。
講義時間	60 時間
修了要件	全講義回に出席すること。(うち対面講義に 8 割以上出席。ビデオ補講あり。)
履修証明書	修了者には履修証明書を交付します。

受講関連情報

受講形態	対面講義
講義場所	東京大学大学院経済学研究科学術交流棟（小島ホール）等
開講時期	2026 年 4 月から 2027 年 3 月まで
開講スケジュール	毎水曜日の 19 時から 21 時 10 分（予定）※ 夏季および年末年始等の休講時期を除く
オプション	任意でレポートの提出・発表が可能です。

募集・選考

定 員	約 35 名（最少開講人数 20 名）
申込要件	大学卒業以上
受 講 料	90 万円（左記受講料に加え、別途消費税がかかります）
募集期間	第一次 : 2026 年 1 月 6 日（火）から 2026 年 1 月 23 日（金） 第二次（若干名）: 2026 年 2 月 24 日（火）から 2026 年 3 月 6 日（金）
選考結果通知	第一次 : 2026 年 2 月 20 日（金） 第二次 : 2026 年 3 月 27 日（金）
受講料振込期間	2026 年 4 月 1 日（水）から 2026 年 4 月 10 日（金）
選考書類	以下の書類をご提出いただきます。 ① 高度金融人材養成プログラム履修申請書 ② 大学卒業証明書 ③ a 現在所属する会社・団体等の在籍証明書 b 現在所属する会社・団体等の上司か人事部からの推薦状 c 出身大学における指導教員からの推薦状 ※ ③につきましては、a、b または c のいずれかをご提出ください。 なお、提出いただいた選考書類は返却しません。

詳細はファイナンス・スクール Web サイトをご覗ください。
https://www.carf.e.u-tokyo.ac.jp/finance_school/



FAQ

履修証明プログラムについて

● 履修証明プログラムとは何ですか？

東京大学では、社会人向け教育及び大学の社会貢献の一環として、履修証明プログラムを開設しています。

履修証明プログラムとは、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、

大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、

その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書（Certificate）を交付するものです。

● (受講希望の方) 履歴書に修了したことを記載できますか？

履修証明プログラムを修了すると履修証明書が交付され、履歴書への記載が可能です。

● (企業の人事部門等の方) 履修証明を人事評価に活用することは可能ですか？

履修証明書は東京大学大学院経済学研究科長が学校教育法に基づいて交付するものです。

各企業のご判断において人事評価等に取り入れ、人材育成に活用していただくことが可能です。

東京大学大学院経済学研究科 高度金融人材養成プログラムについて

● 大学院とは何が違いますか？

高度金融人材養成プログラム（CARF ファイナンス・スクール）は、修士や博士といった学位が授与されるものではありませんが、多忙な金融実務者の受講を想定し、1年間・60時間という限られた時間に金融研究のエッセンスを詰め込んでいます。

ぜひ、修了後にも続く自己研鑽の基礎として、ファイナンス・スクールでの学びをご活用ください。

● 英語での講義はありますか？

2026年度の講義はすべて日本語で行います。

● オンライン受講は可能ですか？

このスクールでは、第一線の講師による少数精銳の講義で、質が高く情報量の多い学びを経験していただくことを意図しておりますので、対面形式で講義を実施します。

欠席の場合は、定められた回数まではビデオ補講を CARF 内で受講いただくことで出席とします。

● レポート提出など、講義外の課題はありますか？

週に1回の講義への出席で修了要件を満たします。

必須のレポート提出等はありませんが、オプションで研究レポートを提出・発表いただけます。

● 受講を中断する場合、受講料は返還されますか？

支払い済みの受講料の返還はいたしません。

● 「金融に携わっている方」とはどのような人を指しますか？

銀行・証券・保険といった金融業に就いている方のほか、総合商社や不動産デベロッパーにお勤めの方も含みます。

また、一般企業の財務担当者、公的機関等で金融に携わる方も対象です。

● 選考基準はどのようなものですか？

ご提出いただく選考書類から総合的に選考します。

● 説明会は開催されますか？

2025年12月、2026年1月、2026年2月にオンラインで開催を予定しています。

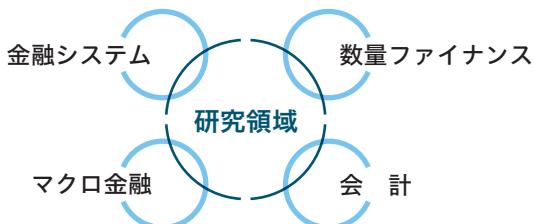
詳細は Web サイト (https://www.carf.e-u-tokyo.ac.jp/finance_school/) にてご確認ください。

about CARF

東京大学大学院経済学研究科附属金融教育研究センター（Center for Advanced Research in Finance、略称 CARF）は、アジア環太平洋における金融研究の中心的役割を担い、理論的ならびに実践的な金融研究を推進することによって、世界経済およびアジア経済の健全な発展に資することをミッションとしています。この目標を達成するために、CARFは国際的でオープンな研究センターを目指しています。

研究領域

4つの研究領域で研究を進めるとともに、産学官研究会や国際学会など多数のイベントを開催しています。



4つのミッション

MISSION 1

世界から第一線の研究者を招聘して、金融経済学の先端理論研究を推進します。

MISSION 2

質・量ともに充実した金融データセンターを構築し、とりわけアジアの金融・資本市場に関する実証研究を推進します。

MISSION 3

アジア経済のバランスのとれた発展を支援するために、日本型金融システムの成功・失敗の経験を理論・実証の両面から分析し、健全な経済発展のためにあるべき金融システムのデザインや政策提言を行います。

MISSION 4

産業界・金融界と連携して研究開発を行い、最先端の資金運用・資金調達・リスク管理の手法開発を行うとともに、21世紀の金融を担う研究者、リーダーを育成します。

センター概要

設立 2005年4月

センター長 植田 健一（東京大学大学院経済学研究科教授）

Webサイト <https://www.carf.e.u-tokyo.ac.jp/>

アクセス 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学 経済学研究科学術交流棟（小島ホール）4F



高度金融人材養成プログラムについて

Webサイト https://www.carf.e.u-tokyo.ac.jp/finance_school/

お問い合わせ E-mail:carf-school@e.u-tokyo.ac.jp